

子どもの権利に関する市立学校アンケート結果

1 アンケート概要

アンケートの目的：市立学校の児童生徒に子どもの権利に関するアンケートを実施することを通じて、子どもの権利に関する啓発を行うとともに、市の子どもの権利に関する条例検討委員会における検討の参考とすること。

対 象 者：市立学校（小4～中3）全児童生徒

実 施 期 間：令和3年8月31日から令和3年9月10日まで

実 施 方 法：児童生徒に配付されているタブレット端末により無記名回答

調 査 者 数：4,928件

回 答 総 数：3,743件

回 答 率：76.0%

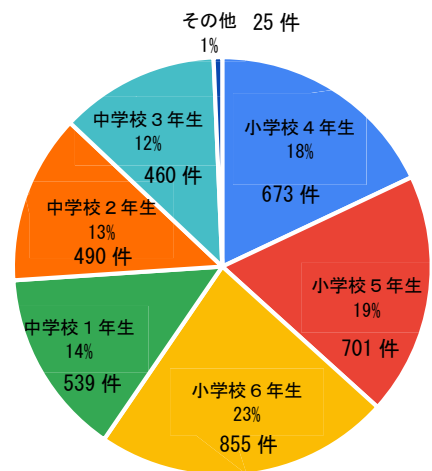
2 アンケート結果

1. あなたの学年を教えてください。

〔アンケート回答総数と回答率〕

学年	回答総数 (件)	調査者数 (件)	回答率
小学校4年生	673	1,027	65.5%
小学校5年生	701	980	71.5%
小学校6年生	855	976	87.6%
中学校1年生	539	638	84.5%
中学校2年生	490	684	71.6%
中学校3年生	460	623	73.8%
その他	25	-	-
合計	3,743	4,928	76.0%

〔回答者の学年構成〕



○全体の回答率は、76.0%でした。

○学年別で、回答率が最も高かったのは、小学6年生の87.6%でした。

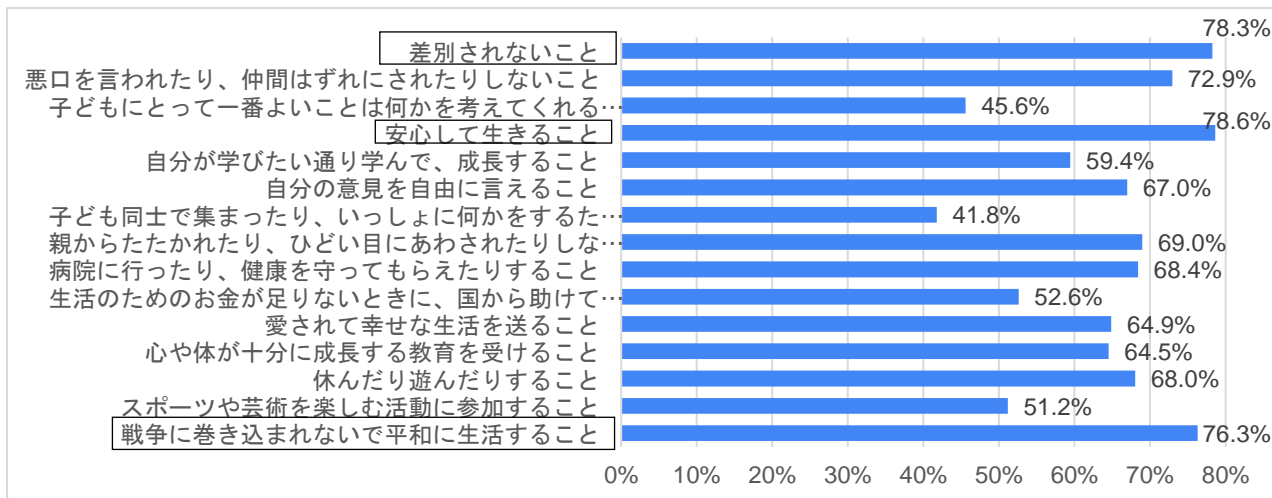
○学年別で、回答率が最も低かったのは、小学4年生の65.5%でした。

○回答者の約6割が小学生、約4割が中学生でした。

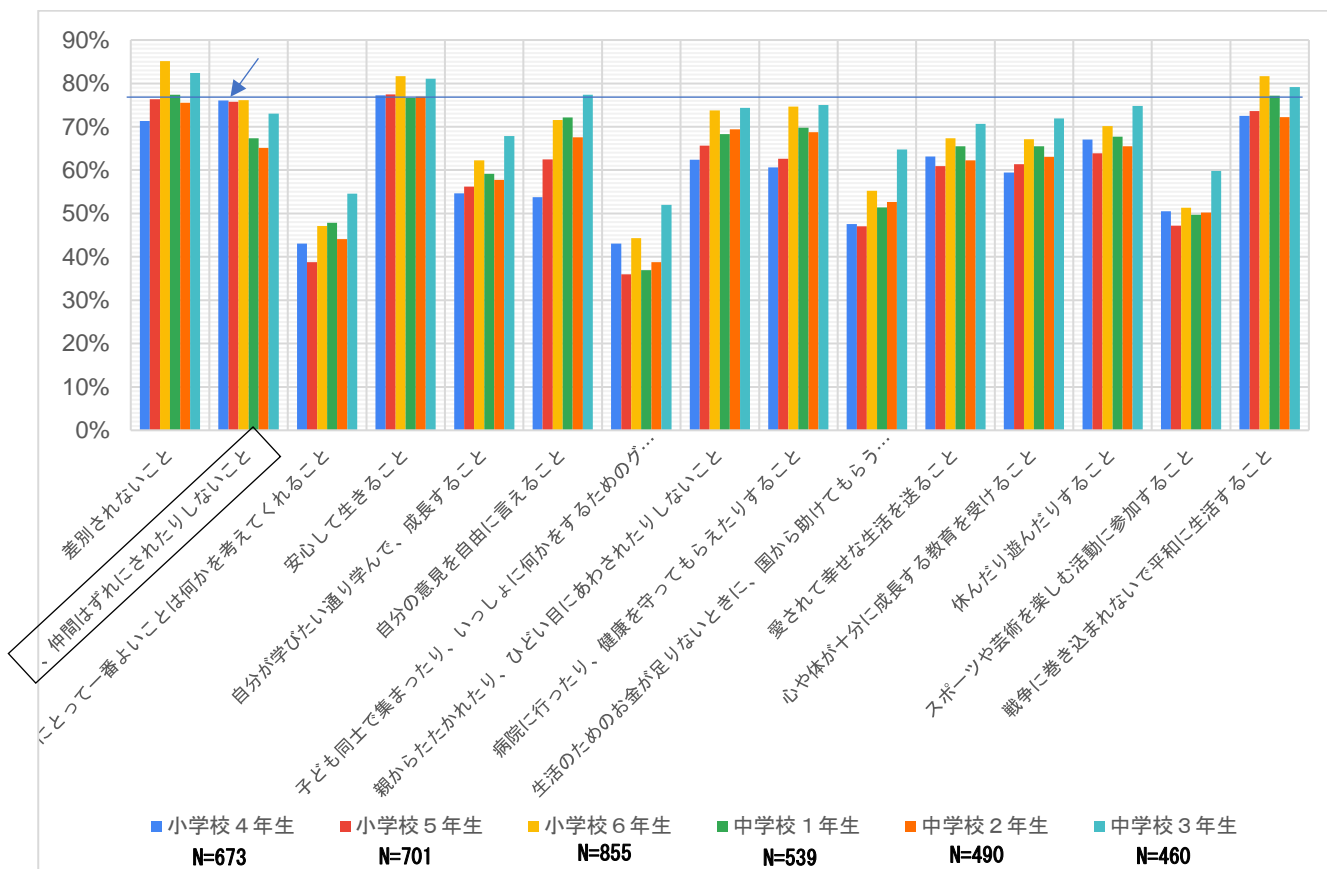
○「その他」は、無回答もしくは複数回答したため、学年が特定できなかったものです。

4. 子どもの権利には、次のようなものがあります。あなた自身が特に大切だと思う子どもの権利を選択肢の中から選んでください。(いくつでも可)

3,743 件の回答



学年ごとの割合 (%)

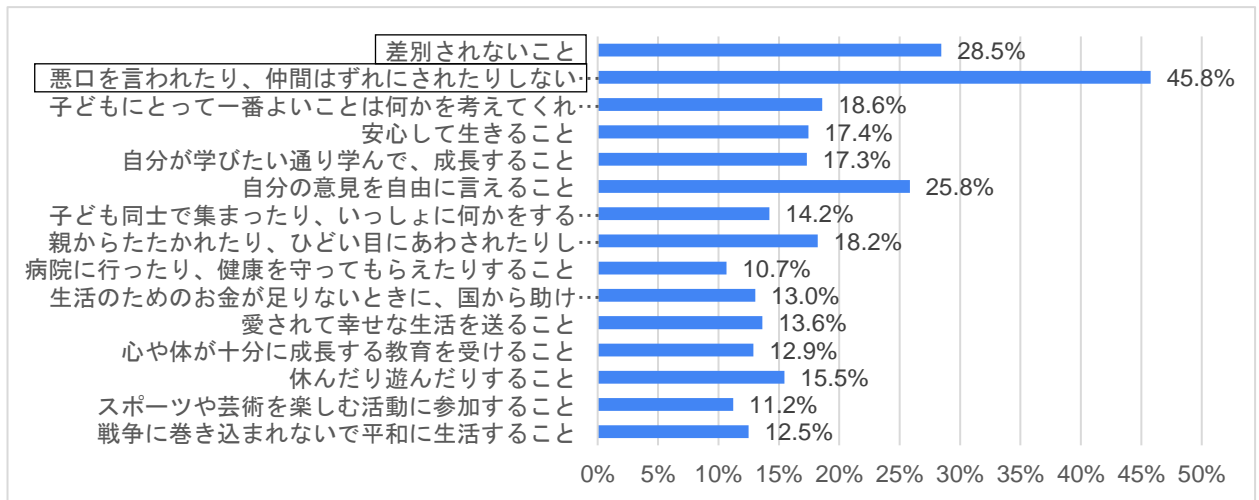


○特に大切だと思う子どもの権利の回答が高いのは、全体では、「安心して生きること」(78.6%)、「差別されないこと」(78.3%)、「戦争に巻き込まれないで平和に生活すること」(76.3%)です。

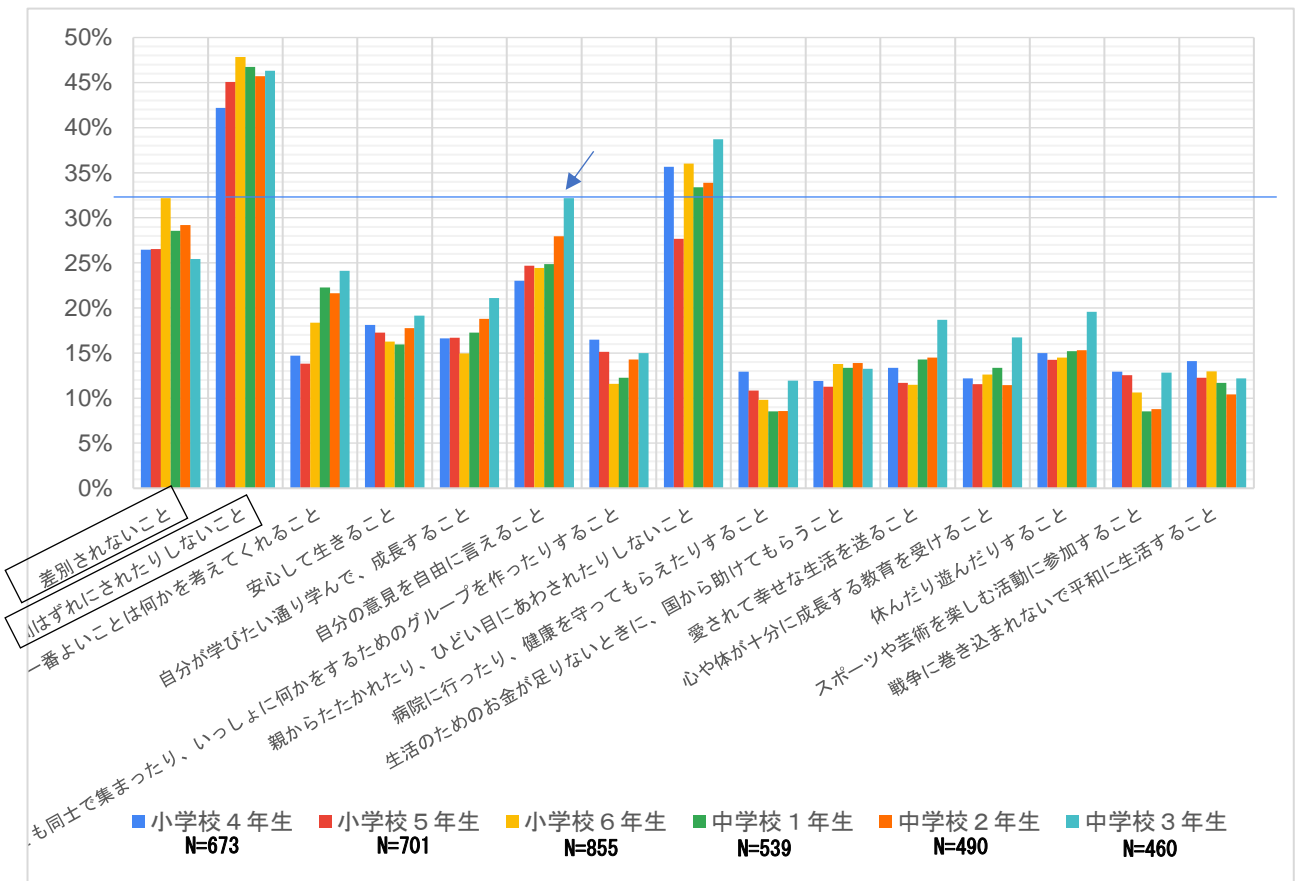
○小学生全体では、中学生全体よりも、「悪口をいわれたり、仲間はずれにされたりしないこと」の回答が高くなりました。

5. あなた自身やあなたの周りで、守られていないことがあると思う子どもの権利を選んでください。(いくつでも可)

N=3,743



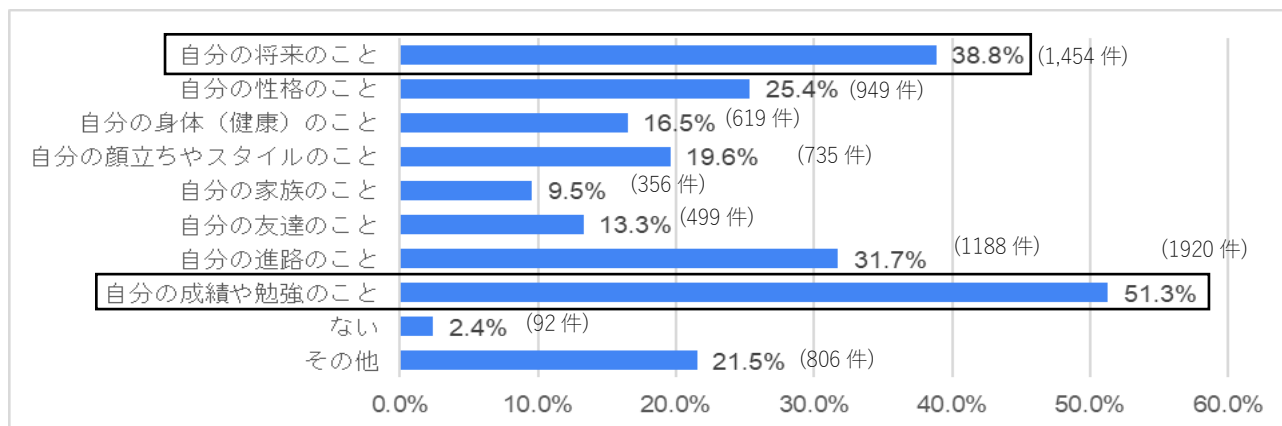
学年ごとの割合 (%)



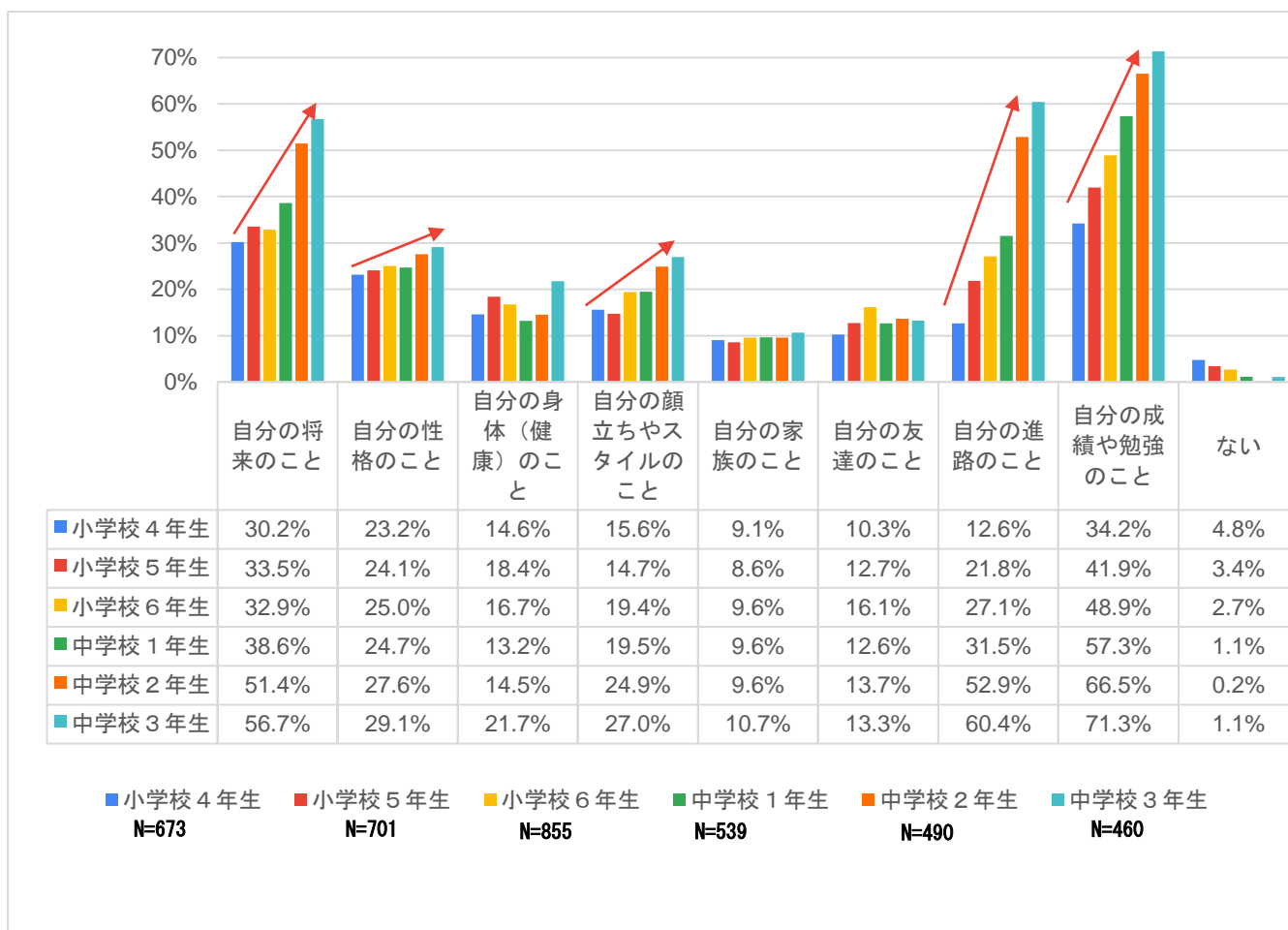
- 守られていないことがあると思う子どもの権利の回答が高いのは、全体では、「悪口をいわれたり、仲間はずれにされたりしないこと」(45.8%)、「差別されないこと」(28.5%)でした。
- 中学3年生では、「自分の意見を自由に言えること」が、守られていないことがあると思う子どもの権利の回答が3番目に高くなりました。

15. いま、自分について悩んでいることはどんなことですか？(いくつでも可)

3,743 件の回答



学年ごとの割合 (%)

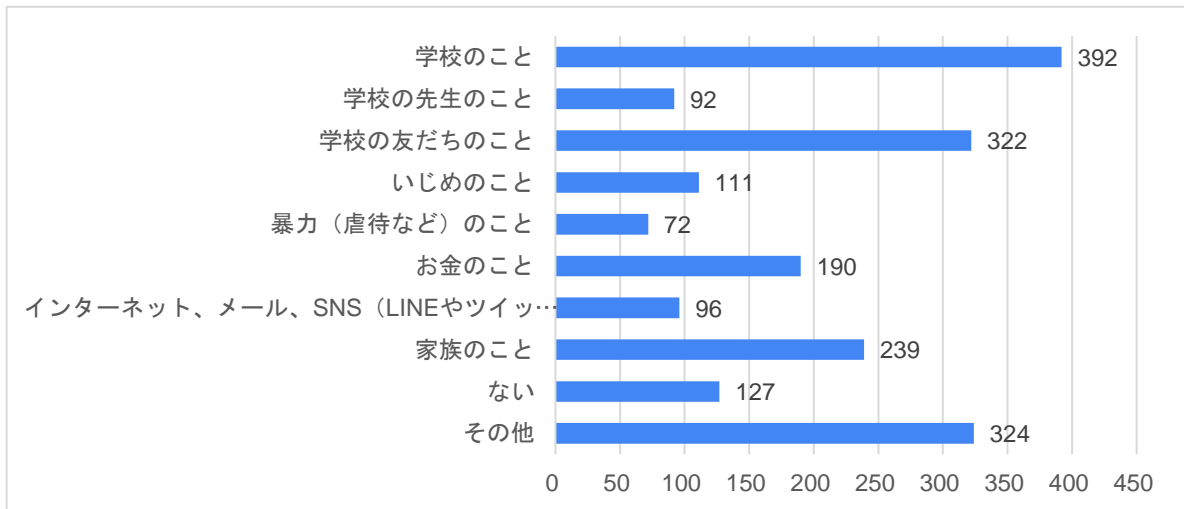


○すべての学年で、「自分の成績や勉強のこと」(1,188件、51.3%)の回答が高くなっています。次いで、「自分の将来のこと」(1,454件、38.8%)の回答が高くなっています。

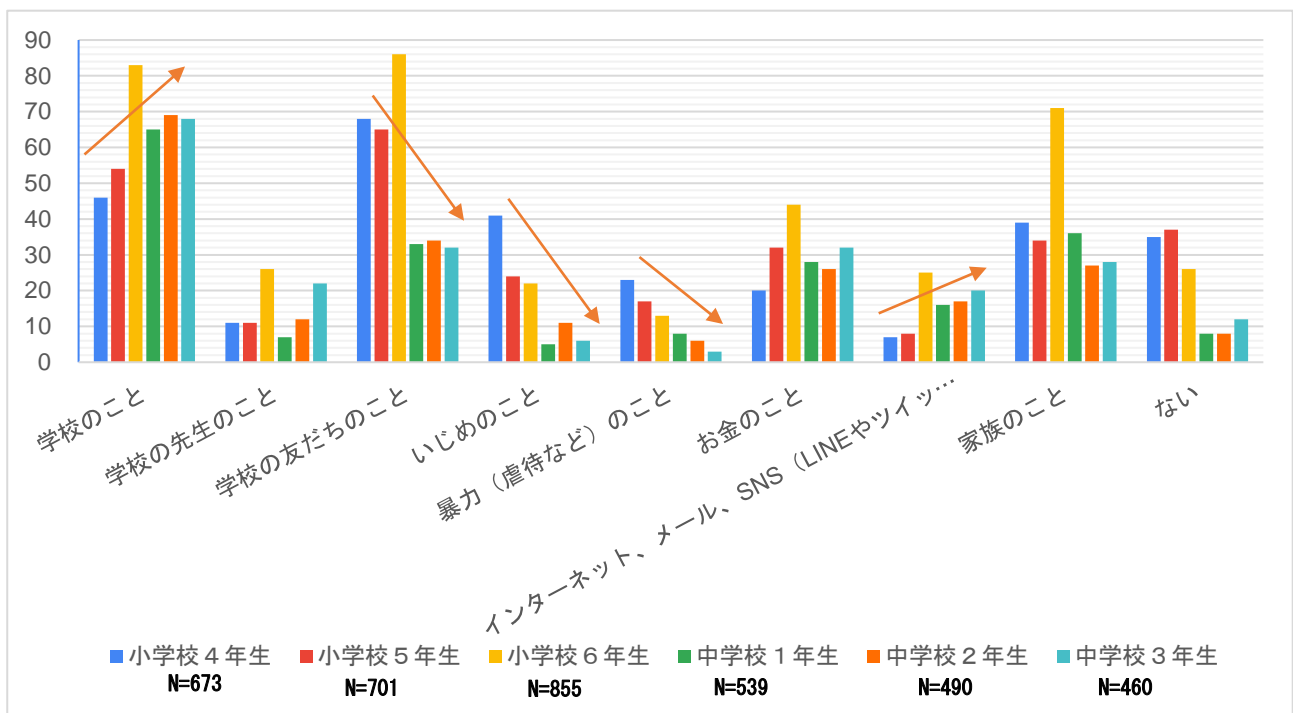
○学年が上がるにつれて、高くなる傾向がみられる項目が複数あります。

16. 今、困っていること、つらいと感じていることはありますか？(いくつでも可)

N=1,641 件の回答



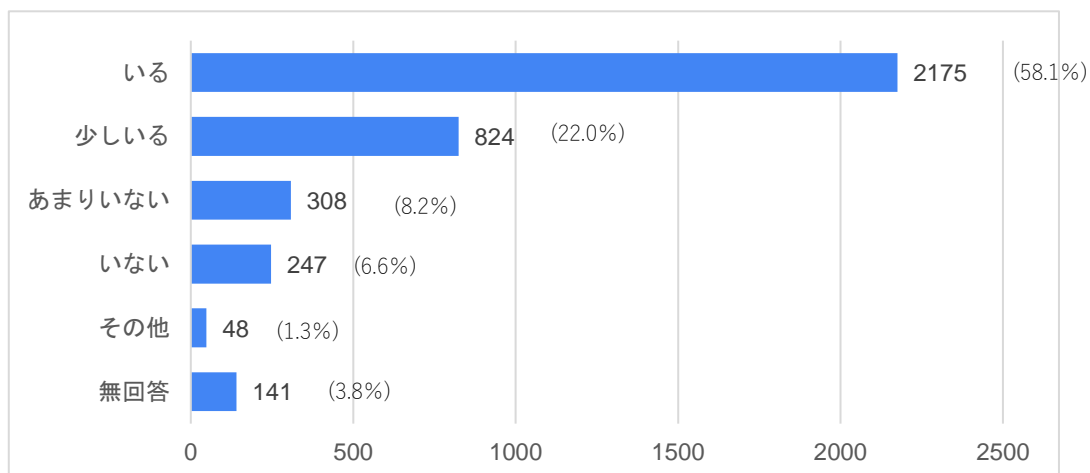
学年ごとの件数 (件)



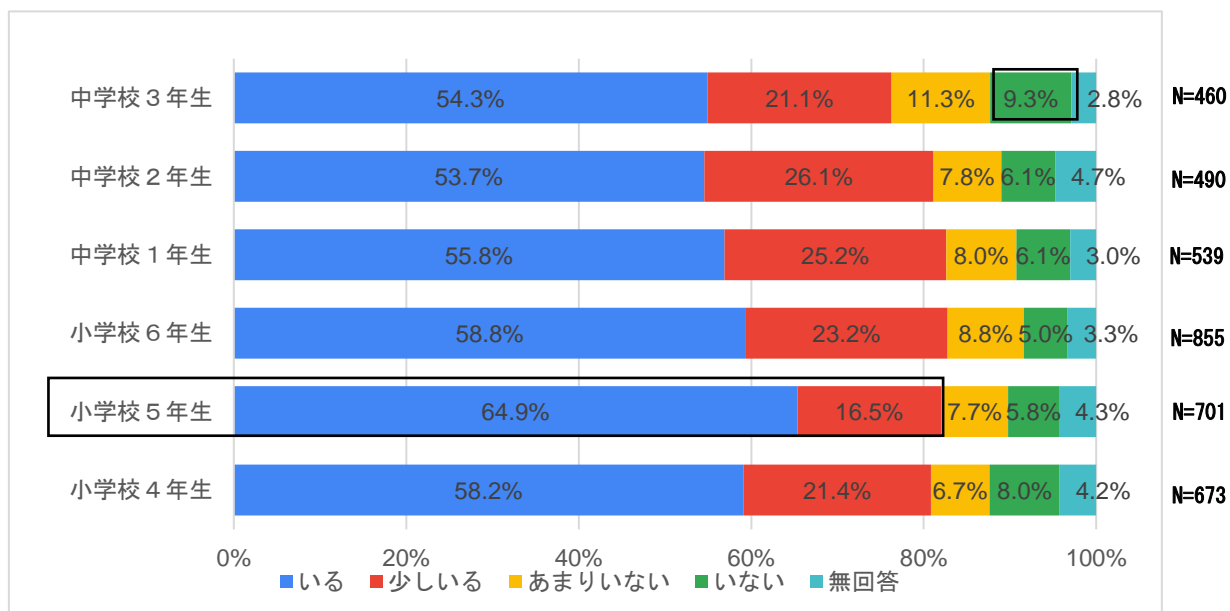
- すべての学年で、「学校のこと」(392件)、「学校の友だちのこと」の回答が多くなっています。
- 「学校の友だちのこと」、「学校のこと」、「家族のこと」などで、小学6年生の回答件数が突出しています。
- 「学校のこと」や「インターネット、メール、SNS (LINEやツイッターなど) のこと」は、学年が高くなるにつれ、回答件数が多くなる傾向が見られました。
- 「学校の友だちのこと」、「いじめのこと」、「暴力(虐待) のこと」は、学年が高くなるにつれ、回答件数が少なくなる傾向が見られました。

17-1. 悩んでいること、困っていることを相談できる人はいますか？

N=3,743



学年ごとの割合 (%)

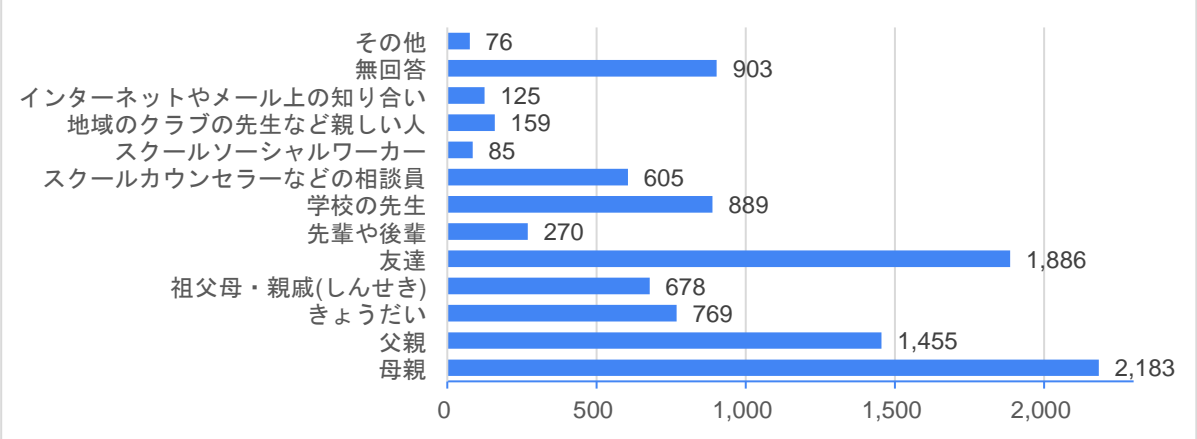


○全体で、相談できる人が「いる」の回答割合は、58.1%でした。

○相談できる人が「いる」の回答割合が最も高いのは、小学5年生64.9%でした。

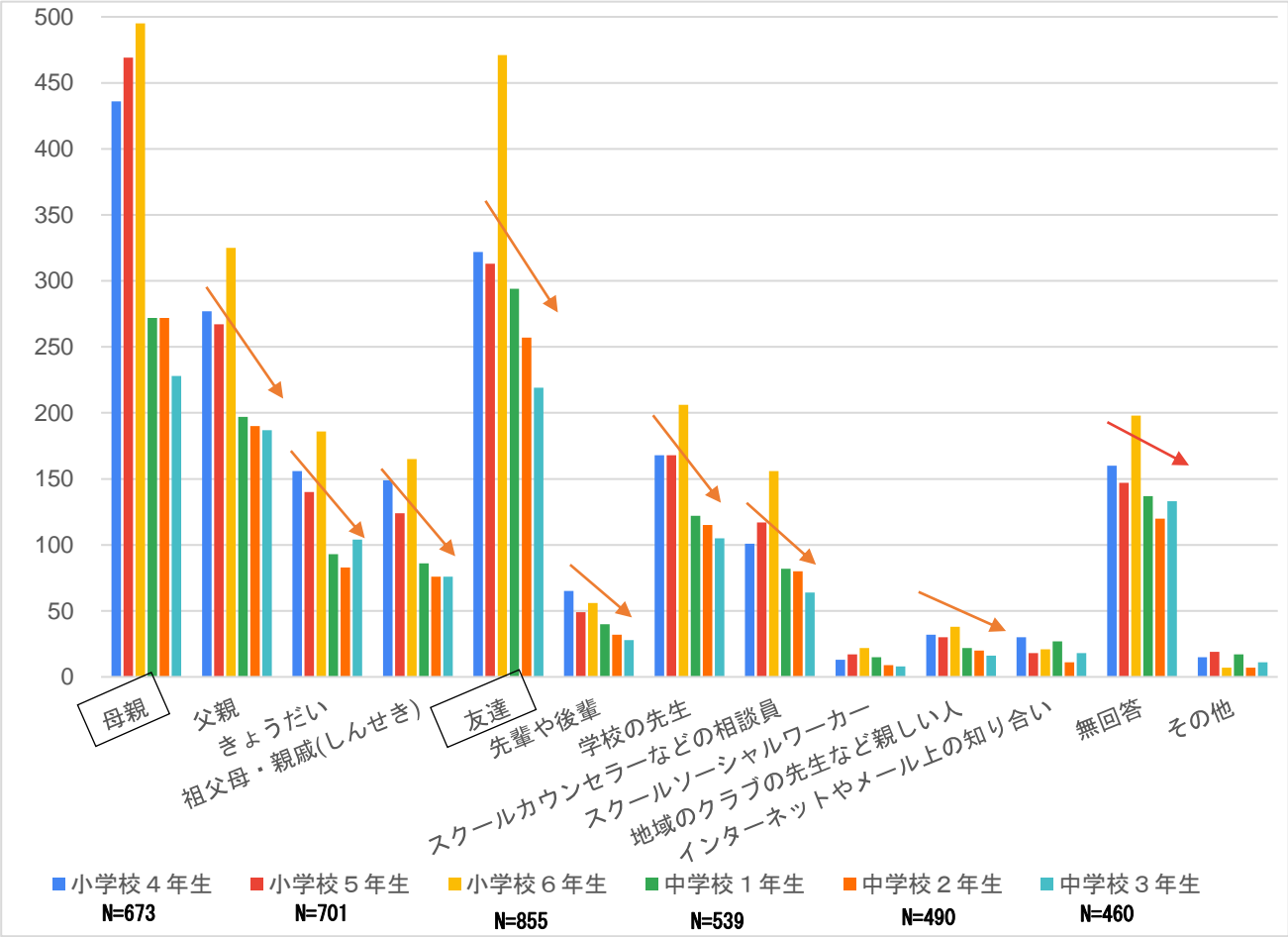
○「いない」、「あまりいない」(否定的な回答)の合計が最も高かったのは、中学3年生でした。

17-2. 相談できる人が「いる」と回答した人にお聞きします。それは、だれですか？（いくつでも可）



※自由記載、少数回答は省略

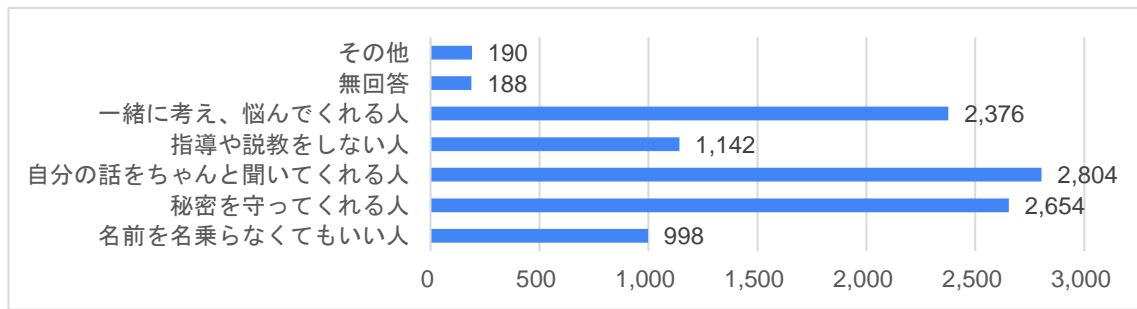
学年ごとの件数（件）



- 全ての学年で、相談できる人は「母親」、「友達」の回答件数が多くなりました。
- 学年が大きくなるにつれ、相談できる人が少なくなる傾向がありました。
- 小学生全体よりも中学生全体の方が、相談できる人が少なくなりました。

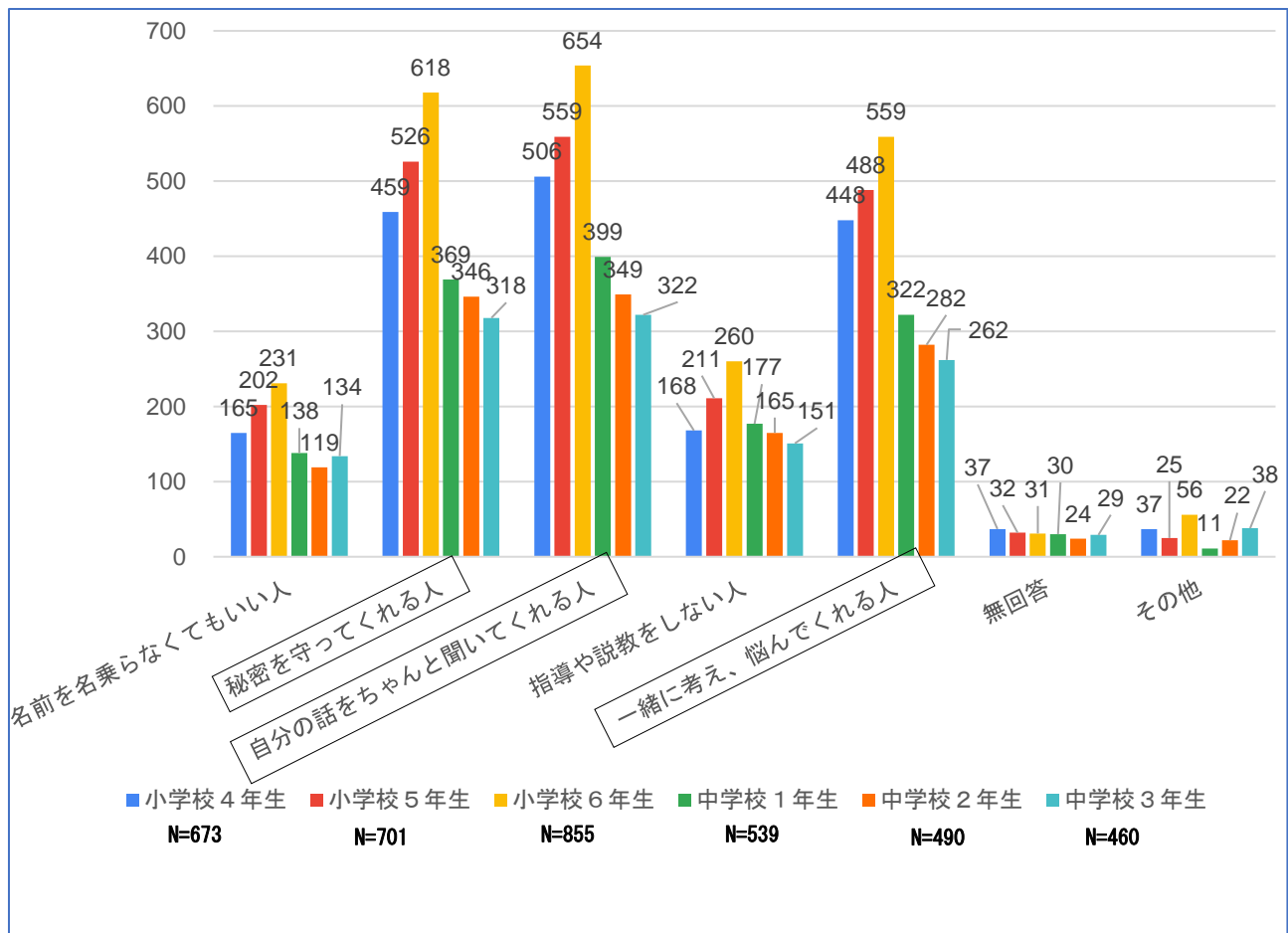
18. もし相談するとしたら、どんな人なら相談できますか？（いくつでも可）

N=3,743



※自由記載、少数回答は省略

学年ごとの割合（％）



○全ての学年で、どんな人なら相談できるかについては、「自分の話をちゃんと聞いてくれる人」、「秘密を守ってくれる人」、「一緒に考え、悩んでくれる人」の回答が多くなりました。

○相談できる人は、子どもによっても、また、悩みによってもそれぞれ異なることが考えられます。